



2022年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月14日

上場会社名 江崎グリコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2206 URL https://www.glico.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 江崎勝久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 高橋真一 TEL 06-6477-8404
 ファイナンス部長
 定時株主総会開催予定日 2023年3月29日 配当支払開始予定日 2023年3月8日
 有価証券報告書提出予定日 2023年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年12月期の連結業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|-----------|---------|------|--------|-------|--------|-------|---------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年12月期 | 303,921 | — | 12,845 | △33.5 | 13,646 | △37.1 | 8,099 | △40.1 |
| 2021年12月期 | 338,571 | △1.6 | 19,307 | 4.2 | 21,708 | 10.5 | 13,519 | 14.2 |

（注）包括利益 2022年12月期 14,113百万円（△38.2%） 2021年12月期 22,835百万円（101.7%）

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|-----------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年12月期 | 126.59 | — | 3.3 | 3.8 | 4.2 |
| 2021年12月期 | 208.44 | — | 5.8 | 6.2 | 5.7 |

（参考）持分法投資損益 2022年12月期 460百万円 2021年12月期 467百万円

（注）2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、当該基準等を適用する前の2021年12月期の売上高に対する対前期増減率は記載しておりません。

なお、2021年12月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は3.9%増であります。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年12月期 | 369,056 | 244,760 | 66.2 | 3,841.62 |
| 2021年12月期 | 356,745 | 241,177 | 67.5 | 3,710.65 |

（参考）自己資本 2022年12月期 244,291百万円 2021年12月期 240,791百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年12月期 | 16,802 | △20,140 | △10,284 | 79,917 |
| 2021年12月期 | 28,651 | △29,194 | △4,859 | 89,463 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|-------------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年12月期 | — | 35.00 | — | 35.00 | 70.00 | 4,545 | 33.6 | 2.0 |
| 2022年12月期 | — | 40.00 | — | 40.00 | 80.00 | 5,087 | 63.2 | 2.1 |
| 2023年12月期 (予想) | — | 40.00 | — | 40.00 | 80.00 | | 50.9 | |

（注）2022年12月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭
 2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当5円00銭

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|--------|------|--------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 317,000 | 4.3 | 16,000 | 24.6 | 17,000 | 24.6 | 10,000 | 23.5 | 157.26 |

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）上海江崎格力高開発食品有限公司、除外 1社（社名）－

※詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（当連結会計年度における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

※詳細は、添付資料14ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

| | | | |
|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 2022年12月期 | 68,468,569株 | 2021年12月期 | 68,468,569株 |
| 2022年12月期 | 4,877,747株 | 2021年12月期 | 3,576,677株 |
| 2022年12月期 | 63,984,620株 | 2021年12月期 | 64,856,919株 |

（参考）個別業績の概要

1. 2022年12月期の個別業績（2022年1月1日～2022年12月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|-----------|---------|------|--------|-------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年12月期 | 196,730 | － | 7,497 | △37.4 | 16,011 | △0.5 | 12,553 | 21.6 |
| 2021年12月期 | 234,746 | △7.6 | 11,974 | △7.0 | 16,089 | 1.7 | 10,323 | △2.2 |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|-----------|----------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年12月期 | 196.19 | － |
| 2021年12月期 | 159.17 | － |

2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、当該基準等を適用する前の2021年12月期の売上高に対する対前期増減率は記載しておりません。

（2）個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年12月期 | 301,747 | 211,088 | 70.0 | 3,319.49 |
| 2021年12月期 | 297,011 | 208,739 | 70.3 | 3,216.73 |

（参考）自己資本 2022年12月期 211,088百万円 2021年12月期 208,739百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益及び包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 12 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (当連結会計年度における重要な子会社の異動) | 14 |
| (会計方針の変更) | 14 |
| (セグメント情報等) | 15 |
| (1株当たり情報) | 20 |
| (重要な後発事象) | 20 |
| 4. その他 | 20 |

※参考資料 2022年12月期 決算短信補足説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社は、当連結会計年度の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用しております。このため、経営成績及び各セグメントにおける比較につきましては、2021年1月1日から2021年12月31日までの12ヶ月間を「組替後前年同期」として算出した参考数値と比較しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、感染対策等により経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあり一部持ち直しの動きが見られた一方で、原材料価格上昇や金融資本市場の変動等を注視する必要があり、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、存在意義（パーパス）である「すこやかな毎日、ゆたかな人生」の実現に向け価値創造を強化し、①健康価値の提供・お客様起点のバリューチェーンの構築、②注力領域への研究投資の集中、③海外事業の拡大に向け取り組みました。

その結果、売上面では、乳業部門、健康事業を含むその他部門は組替後前年同期を下回りましたが、菓子・食品部門、冷菓部門、食品原料部門、海外部門が組替後前年同期を上回ったため、当連結会計年度の売上高は303,921百万円となり、組替後前年同期（292,557百万円）に比べ3.9%の増収となりました。

利益面では、売上原価率は、食品原料部門を除く全ての部門で上昇したため、組替後前年同期に比べ1.9ポイント上昇しました。また、第2四半期に発生した中国上海でのロックダウンの影響で固定費負担が増加したほか、海上運賃高騰により運送費及び保管費が増加しました。

その結果、営業利益は12,845百万円となり、組替後前年同期（19,307百万円）に比べ6,461百万円の減益となりました。経常利益は営業利益段階での減益及び為替差損等により、13,646百万円となり、組替後前年同期（21,708百万円）に比べ8,062百万円の減益となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は8,099百万円となり、組替後前年同期（13,519百万円）に比べ5,419百万円の減益となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円、％）

| セグメント | 売上高 | | | | 営業利益 | | | |
|-------|-------------|-------------|--------------|-----------------|-------------|-------------|--------------|-----------------|
| | 前連結会計 年度 | 当連結会計 年度 | 対前年同期 増減額 | 対前年同期 増減率(%) | 前連結会計 年度 | 当連結会計 年度 | 対前年同期 増減額 | 対前年同期 増減率(%) |
| 菓子・食品 | 65,634 | 66,717 | 1,082 | 1.6 | 5,098 | 5,004 | △93 | △1.8 |
| 冷菓 | 77,246 | 80,097 | 2,850 | 3.7 | 3,799 | 2,717 | △1,081 | △28.5 |
| 乳業 | 70,518 | 67,364 | △3,154 | △4.5 | 2,095 | △257 | △2,352 | — |
| 食品原料 | 10,500 | 11,158 | 657 | 6.3 | 919 | 1,238 | 319 | 34.8 |
| 海外 | 49,920 | 59,902 | 9,982 | 20.0 | 3,915 | 1,192 | △2,723 | △69.6 |
| その他 | 18,735 | 18,682 | △53 | △0.3 | 1,525 | 505 | △1,020 | △66.9 |
| 調整 | — | — | — | — | 1,954 | 2,445 | 491 | 25.1 |
| 合計 | 292,557 | 303,921 | 11,364 | 3.9 | 19,307 | 12,845 | △6,461 | △33.5 |

（注）調整の内容は、セグメント間取引消去・その他調整額及び各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

＜菓子・食品部門＞

売上面では、“神戸ローストショコラ”等が組替後前年同期を下回りましたが、“ポッキー”“プリッツ”等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は66,717百万円となり、組替後前年同期（65,634百万円）に比べ1.6%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は5,004百万円となり、組替後前年同期（5,098百万円）に比べ93百万円の減益となりました。

<冷菓部門>

売上面では、“ジャイアントコーン” “アイスの実” 等が組替後前年同期を下回りましたが、“セブンティーンアイス”、卸売販売子会社の売上高等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は80,097百万円となり、組替後前年同期(77,246百万円)に比べ3.7%の増収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は2,717百万円となり、組替後前年同期(3,799百万円)に比べ1,081百万円の減益となりました。

<乳業部門>

売上面では、“ブッチンプリン” 等が組替後前年同期を上回りましたが、“BifiXヨーグルト” “朝食りんごヨーグルト” 等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は67,364百万円となり、組替後前年同期(70,518百万円)に比べ4.5%の減収となりました。

利益面では、減収及び売上原価率の上昇等により、営業損失は257百万円となり、組替後前年同期(営業利益2,095百万円)に比べ2,352百万円の減益となりました。

<食品原料部門>

売上面では、「小麦たん白」 “GMIX” 等が組替後前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は11,158百万円となり、組替後前年同期(10,500百万円)に比べ6.3%の増収となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加等により、営業利益は1,238百万円となり、組替後前年同期(919百万円)に比べ319百万円の増益となりました。

<海外部門>

売上面では、地域別において、中国、ASEAN、米国等で組替後前年同期を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は59,902百万円となり、組替後前年同期(49,920百万円)に比べ20.0%の増収となりました。

利益面では、中国上海でのロックダウン期間中の固定費負担増、運送費及び保管費増等により、営業利益は1,192百万円となり、組替後前年同期(3,915百万円)に比べ2,723百万円の減益となりました。

<その他部門(健康事業を含む)>

売上面では、“アーモンド効果” 「オフィスグリコ」 等が組替後前年同期を上回りましたが、“SUNAO” 等が組替後前年同期を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は18,682百万円となり、組替後前年同期(18,735百万円)に比べ0.3%の減収となりました。うち、健康事業においては、当連結会計年度の売上高は13,532百万円となり、組替後前年同期(13,845百万円)に比べ2.3%の減収となりました。

利益面では、売上原価率の上昇等により、営業利益は505百万円となり、組替後前年同期(1,525百万円)に比べ1,020百万円の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は178,168百万円となり、前連結会計年度末に比べ458百万円減少しました。主な要因は、受取手形及び売掛金が2,474百万円、商品及び製品が2,861百万円増加しましたが、現金及び預金が10,320百万円減少したことによるものであります。固定資産は190,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,769百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具が4,163百万円、建設仮勘定が1,157百万円、ソフトウェア仮勘定が5,725百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は369,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,311百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は79,875百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,724百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が4,056百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は44,421百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,004百万円増加しました。この結果、負債合計は、124,296百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,729百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は244,760百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,582百万円増加しました。主な要因は、剰余金の配当により4,816百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を8,099百万円計上したこと及び為替換算調整勘定が6,998百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は66.2%（前連結会計年度末比1.3ポイント減）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 | 増減額（△は減） |
|------------------|---------|---------|----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 28,651 | 16,802 | △11,849 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △29,194 | △20,140 | 9,054 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,859 | △10,284 | △5,424 |
| 現金及び現金同等物期首残高 | 92,449 | 89,463 | △2,986 |
| 現金及び現金同等物期末残高 | 89,463 | 79,917 | △9,546 |

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、投資活動及び財務活動による支出が営業活動による収入を上回ったため、前連結会計年度末に比べ9,546百万円減少し、当連結会計年度末には79,917百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは16,802百万円となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益13,936百万円、減価償却費13,896百万円等があったものの、棚卸資産の増加△4,084百万円、売上債権の増加△1,285百万円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは△20,140百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入5,516百万円等があったものの、有形固定資産の取得による支出△18,385百万円、無形固定資産の取得による支出△7,312百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは△10,284百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得による支出△5,002百万円、配当金の支払額△4,816百万円等があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2020年12月期 | 2021年12月期 | 2022年12月期 |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|
| 自己資本比率（％） | 65.2 | 67.5 | 66.2 |
| 時価ベースの自己資本比率（％） | 86.4 | 66.6 | 62.4 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年） | 0.0 | 0.0 | — |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍） | 530.3 | 760.6 | 173.8 |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果等もあり景気が持ち直していくことが期待されるものの、世界的な金融引締めの影響による海外景気の下振れリスク、供給面の制約、原材料価格動向、金融市場の変動等、先行きは未だ不透明なまま推移すると予想されます。

このような状況を踏まえ、2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の売上高は317,000百万円、営業利益は16,000百万円、経常利益は17,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は10,000百万円と予想しております。

当社グループは、「事業を通じて社会に貢献し、より多くの人々の健康な毎日を実現することを追求し続ける」ことを「創業の精神」に掲げ、未病・予防の領域に着目し、科学的根拠に基づいて子供から大人まで、誰もが栄養を摂取しやすい食品を開発してきました。2022年2月に創立100周年を迎え、新たに企業の存在意義（パーパス）を「すこやかな毎日、ゆたかな人生」と決めました。新たに制定したパーパスの下、当社グループの今後のさらなる成長の実現に向け、2023年1月より社内マネジメント体制を従来のカテゴリー単位から「注力領域・事業」を単位とした新たなマネジメントへ移行することとしました。これにより、報告セグメントは以下のとおり変更となります。

旧：「菓子・食品部門」、「冷菓部門」、「乳業部門」、「食品原料部門」、「海外部門」

新：「健康・食品事業」、「乳業事業」、「栄養菓子事業」、「食品原料事業」、「国内その他事業」、「海外事業」

＜新セグメントの概要＞

「健康・食品事業」・・・健康関連商品、レトルト食品等を製造・販売しております。

「乳業事業」・・・乳製品、洋生菓子、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「栄養菓子事業」・・・チョコレート、ビスケット等を製造・販売しております。

「食品原料事業」・・・小麦たん白、澱粉、色素等を製造・販売しております。

「国内その他事業」・・・直営店舗事業、オフィスグリコ事業等を行っております。

「海外事業」・・・海外においてチョコレート、ビスケット等を製造・販売しております。

なお、2023年12月期売上高予想におけるセグメント別内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

| | 健康・食品 事業 | 乳業事業 | 栄養菓子 事業 | 食品原料 事業 | 国内その他 事業 | 海外事業 | 合計 |
|---------------|-------------|--------|------------|------------|-------------|--------|---------|
| 売上高予想 (通期) | 50,000 | 66,500 | 58,200 | 11,700 | 61,600 | 69,000 | 317,000 |

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年12月31日) | 当連結会計年度 (2022年12月31日) |
|------------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 102,026 | 91,705 |
| 受取手形及び売掛金 | 42,898 | 45,372 |
| 有価証券 | 219 | 226 |
| 商品及び製品 | 15,000 | 17,861 |
| 仕掛品 | 838 | 891 |
| 原材料及び貯蔵品 | 12,316 | 14,093 |
| 前払費用 | 1,036 | 987 |
| その他 | 4,372 | 7,143 |
| 貸倒引当金 | △83 | △113 |
| 流動資産合計 | 178,626 | 178,168 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 82,062 | 85,851 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △42,423 | △44,626 |
| 建物及び構築物（純額） | 39,638 | 41,225 |
| 機械装置及び運搬具 | 128,736 | 132,874 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △98,361 | △98,336 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 30,374 | 34,538 |
| 工具、器具及び備品 | 25,929 | 26,853 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △21,797 | △22,151 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 4,132 | 4,702 |
| 土地 | 15,969 | 15,984 |
| リース資産 | 2,133 | 3,970 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △1,436 | △1,809 |
| リース資産（純額） | 697 | 2,161 |
| 建設仮勘定 | 10,268 | 11,426 |
| 有形固定資産合計 | 101,080 | 110,038 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 4,340 | 4,401 |
| ソフトウェア仮勘定 | 11,020 | 16,746 |
| のれん | 391 | 352 |
| その他 | 214 | 181 |
| 無形固定資産合計 | 15,967 | 21,682 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 41,627 | 39,265 |
| 長期貸付金 | 24 | 13 |
| 長期前払費用 | 600 | 125 |
| 退職給付に係る資産 | 4,340 | 4,432 |
| 投資不動産 | 12,606 | 12,648 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △393 | △433 |
| 投資不動産（純額） | 12,213 | 12,214 |
| 繰延税金資産 | 894 | 1,473 |
| その他 | 1,703 | 1,682 |
| 貸倒引当金 | △334 | △39 |
| 投資その他の資産合計 | 61,071 | 59,168 |
| 固定資産合計 | 178,118 | 190,888 |
| 資産合計 | 356,745 | 369,056 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2021年12月31日) | 当連結会計年度 (2022年12月31日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 32,373 | 36,430 |
| 短期借入金 | 232 | — |
| 未払費用 | 25,293 | 24,789 |
| 未払法人税等 | 3,207 | 2,562 |
| 返金負債 | — | 7,256 |
| 販売促進引当金 | 4,106 | — |
| 役員賞与引当金 | 67 | 73 |
| 株式給付引当金 | 21 | — |
| その他 | 6,848 | 8,762 |
| 流動負債合計 | 72,150 | 79,875 |
| 固定負債 | | |
| 転換社債型新株予約権付社債 | 30,044 | 30,023 |
| 長期借入金 | 77 | — |
| 退職給付に係る負債 | 1,299 | 1,350 |
| 繰延税金負債 | 7,006 | 6,633 |
| その他 | 4,988 | 6,414 |
| 固定負債合計 | 43,416 | 44,421 |
| 負債合計 | 115,567 | 124,296 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,773 | 7,773 |
| 資本剰余金 | 9,959 | 9,894 |
| 利益剰余金 | 214,795 | 217,184 |
| 自己株式 | △9,057 | △13,806 |
| 株主資本合計 | 223,470 | 221,046 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,277 | 10,945 |
| 繰延ヘッジ損益 | 253 | △59 |
| 為替換算調整勘定 | 4,758 | 11,756 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,030 | 602 |
| その他の包括利益累計額合計 | 17,320 | 23,245 |
| 非支配株主持分 | 386 | 468 |
| 純資産合計 | 241,177 | 244,760 |
| 負債純資産合計 | 356,745 | 369,056 |

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 338,571 | 303,921 |
| 売上原価 | 180,537 | 193,172 |
| 売上総利益 | 158,033 | 110,749 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運送費及び保管費 | 31,889 | 27,122 |
| 販売促進費 | 43,746 | 8,956 |
| 販売促進引当金繰入額 | 4,106 | — |
| 広告宣伝費 | 10,021 | 10,257 |
| 貸倒引当金繰入額 | △2 | 37 |
| 給料及び手当 | 17,619 | 18,590 |
| 賞与 | 5,415 | 5,806 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 67 | 73 |
| 株式給付引当金繰入額 | 21 | — |
| 退職給付費用 | 406 | 272 |
| 福利厚生費 | 5,138 | 5,889 |
| 減価償却費 | 3,641 | 3,425 |
| その他 | 16,652 | 17,470 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 138,726 | 97,903 |
| 営業利益 | 19,307 | 12,845 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 335 | 550 |
| 受取配当金 | 644 | 657 |
| 為替差益 | 261 | — |
| 投資事業組合運用益 | 432 | — |
| 持分法による投資利益 | 467 | 460 |
| 不動産賃貸料 | 541 | 552 |
| 補助金収入 | 328 | 425 |
| その他 | 924 | 854 |
| 営業外収益合計 | 3,935 | 3,500 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 37 | 96 |
| 寄付金 | 83 | 143 |
| 為替差損 | — | 1,002 |
| 投資事業組合運用損 | — | 170 |
| 固定資産廃棄損 | 490 | 294 |
| 固定資産除却損 | 151 | 218 |
| 休止固定資産減価償却費 | 144 | 116 |
| 債務保証損失 | — | 123 |
| その他 | 626 | 534 |
| 営業外費用合計 | 1,534 | 2,699 |
| 経常利益 | 21,708 | 13,646 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------|---|---|
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 746 | — |
| 投資有価証券売却益 | 172 | 3,519 |
| 特別利益合計 | 918 | 3,519 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 119 | 419 |
| 投資有価証券評価損 | 1,363 | 2,163 |
| 投資有価証券売却損 | 42 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 294 | — |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | — | 647 |
| 特別損失合計 | 1,820 | 3,229 |
| 税金等調整前当期純利益 | 20,806 | 13,936 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,082 | 5,955 |
| 法人税等調整額 | 157 | △176 |
| 法人税等合計 | 7,239 | 5,779 |
| 当期純利益 | 13,567 | 8,156 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 13,519 | 8,099 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 48 | 56 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,041 | △332 |
| 繰延ヘッジ損益 | 433 | △313 |
| 為替換算調整勘定 | 5,116 | 6,659 |
| 退職給付に係る調整額 | 344 | △426 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 332 | 370 |
| その他の包括利益合計 | 9,267 | 5,956 |
| 包括利益 | 22,835 | 14,113 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 22,766 | 14,024 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 69 | 88 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 7,773 | 9,479 | 205,821 | △9,392 | 213,682 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 7,773 | 9,479 | 205,821 | △9,392 | 213,682 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △4,545 | | △4,545 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 13,519 | | 13,519 |
| 自己株式の取得 | | | | △7 | △7 |
| 自己株式の処分 | | 14 | | 342 | 356 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | 465 | | | 465 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | 479 | 8,973 | 335 | 9,788 |
| 当期末残高 | 7,773 | 9,959 | 214,795 | △9,057 | 223,470 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|----------------------|-------------|--------------|------------------|-----------------------|---------|---------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係 る調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 8,236 | △179 | △669 | 686 | 8,073 | 795 | 222,551 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | | — |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 8,236 | △179 | △669 | 686 | 8,073 | 795 | 222,551 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △4,545 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 13,519 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △7 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 356 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | | | 465 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | 3,041 | 433 | 5,428 | 344 | 9,246 | △409 | 8,837 |
| 当期変動額合計 | 3,041 | 433 | 5,428 | 344 | 9,246 | △409 | 18,626 |
| 当期末残高 | 11,277 | 253 | 4,758 | 1,030 | 17,320 | 386 | 241,177 |

当連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

| | 株主資本 | | | | |
|----------------------|-------|-------|---------|---------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 7,773 | 9,959 | 214,795 | △9,057 | 223,470 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | △893 | | △893 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 7,773 | 9,959 | 213,901 | △9,057 | 222,577 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △4,816 | | △4,816 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 8,099 | | 8,099 |
| 自己株式の取得 | | | | △5,002 | △5,002 |
| 自己株式の処分 | | 7 | | 253 | 261 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | △72 | | | △72 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | △65 | 3,283 | △4,749 | △1,531 |
| 当期末残高 | 7,773 | 9,894 | 217,184 | △13,806 | 221,046 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|----------------------|----------------------|-------------|--------------|------------------|-----------------------|---------|---------|
| | その他 有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係 る調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 11,277 | 253 | 4,758 | 1,030 | 17,320 | 386 | 241,177 |
| 会計方針の変更による累積的影響額 | | | | | | | △893 |
| 会計方針の変更を反映した当期首残高 | 11,277 | 253 | 4,758 | 1,030 | 17,320 | 386 | 240,284 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △4,816 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 8,099 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △5,002 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 261 |
| 非支配株主との取引に係る親会社の持分変動 | | | | | | | △72 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | △332 | △313 | 6,998 | △427 | 5,925 | 81 | 6,006 |
| 当期変動額合計 | △332 | △313 | 6,998 | △427 | 5,925 | 81 | 4,475 |
| 当期末残高 | 10,945 | △59 | 11,756 | 602 | 23,245 | 468 | 244,760 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 20,806 | 13,936 |
| 減価償却費 | 14,249 | 13,896 |
| 減損損失 | 119 | 419 |
| 退職給付に係る資産負債の増減額 | △616 | △796 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △15 | 6 |
| 株式給付引当金の増減額 (△は減少) | △7 | △21 |
| 販売促進引当金の増減額 (△は減少) | 375 | △4,106 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 308 | △260 |
| 受取利息及び受取配当金 | △980 | △1,208 |
| 支払利息 | 37 | 96 |
| 投資事業組合運用損益 (△は益) | △432 | 170 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △467 | △460 |
| 為替差損益 (△は益) | 16 | 1,091 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △746 | — |
| 固定資産除却損 | 151 | 218 |
| 固定資産廃棄損 | 490 | 294 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △129 | △3,519 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 1,363 | 2,163 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,566 | △1,285 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 1,034 | △4,084 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △765 | 3,271 |
| 返金負債の増減額 (△は減少) | — | 7,256 |
| その他 | 1,010 | △3,721 |
| 小計 | 37,372 | 23,354 |
| 法人税等の支払額 | △8,720 | △6,551 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 28,651 | 16,802 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △10,403 | △6,667 |
| 定期預金の払戻による収入 | 5,000 | 7,796 |
| 有価証券の売却及び償還による収入 | 58 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3,853 | △2,753 |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 839 | 5,516 |
| 投資事業組合からの分配による収入 | 709 | 11 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △16,554 | △18,385 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 801 | 44 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △7,210 | △7,312 |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 455 | 493 |
| 貸付金の回収による収入 | 32 | 13 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,011 | 1,219 |
| その他 | △81 | △118 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △29,194 | △20,140 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|----------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △268 | △309 |
| 利息の支払額 | △37 | △96 |
| 配当金の支払額 | △4,545 | △4,816 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △7 | △7 |
| 自己株式の売却による収入 | 325 | 238 |
| 自己株式の取得による支出 | △7 | △5,002 |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出 | △5 | △72 |
| その他 | △314 | △217 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △4,859 | △10,284 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,416 | 4,076 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △2,986 | △9,546 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 92,449 | 89,463 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 89,463 | 79,917 |

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（当連結会計年度における重要な子会社の異動）

当連結会計年度において、新たに設立した上海江崎格力高開発食品有限公司（特定子会社）を連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、従来販売費及び一般管理費に計上しておりました「販売促進費」に含まれる販売奨励金及び「販売促進引当金繰入額」等の変動対価及び顧客に支払われる対価について、売上高から控除して表示する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は46,457百万円、販売費及び一般管理費は46,457百万円、それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益及び利益剰余金の当期首残高への影響は軽微であります。また、販売奨励金等に係る「未払費用」及び「販売促進引当金」については、「返金負債」として表示しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

（時価の算定に関する会計基準等の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、この変更による当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（米国会計基準ASU第2020-05「リース」の適用）

一部の在外連結子会社において、当連結会計年度の期首より、ASU第2020-05「リース」（以下「本基準」という。）を適用しております。これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。本基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に利益剰余金の期首残高の修正として認識する方法を採用しております。

なお、この変更による当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、各カテゴリー事業及び連結子会社等を基礎とした製品・サービス並びに地域別のセグメントから構成されており、「菓子・食品部門」、「冷菓部門」、「乳業部門」、「食品原料部門」及び「海外部門」の5つを報告セグメントとしております。

「菓子・食品部門」は、チョコレート・ビスケット・カレールウ・レトルト食品等を製造・販売しております。

「冷菓部門」は、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「乳業部門」は、乳製品・洋生菓子・乳幼児用ミルク等を製造・販売しております。

「食品原料部門」は、小麦たん白・澱粉・色素等を製造・販売しております。

「海外部門」は、海外において菓子・冷菓等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準及び固定資産の減価償却方法を除き、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

棚卸資産の評価基準については、一部、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の社内振替高により評価しております。

固定資産の減価償却方法については、一部を定額法により計算しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|----------------------------|-----------|--------|--------|----------|--------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 菓子・食 品 | 冷菓 | 乳業 | 食品 原料 | 海外 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 79,164 | 87,766 | 79,892 | 10,524 | 60,991 | 318,339 | 20,231 | 338,571 | — | 338,571 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 677 | 74 | 5 | 222 | — | 980 | 11,978 | 12,958 | △12,958 | — |
| 計 | 79,841 | 87,840 | 79,898 | 10,747 | 60,991 | 319,319 | 32,209 | 351,529 | △12,958 | 338,571 |
| セグメント利益 | 5,098 | 3,799 | 2,095 | 919 | 3,915 | 15,827 | 1,525 | 17,353 | 1,954 | 19,307 |
| セグメント資産 | 45,635 | 36,775 | 26,690 | 6,010 | 38,014 | 153,126 | 928 | 154,055 | 202,689 | 356,745 |
| その他の項目 | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 3,864 | 3,880 | 1,558 | 195 | 1,828 | 11,327 | 244 | 11,572 | 2,677 | 14,249 |
| 有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額 | 1,722 | 2,603 | 688 | 276 | 7,533 | 12,823 | 85 | 12,909 | 8,739 | 21,649 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,954百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,523百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等430百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。セグメント資産の調整額202,689百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その他の項目の減価償却費の調整額2,677百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額8,739百万円は、報告セグメントに帰属しない全社償却費及び全社取得資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 財務諸表 計上額 (注) 3 |
|----------------------------|-----------|--------|--------|----------|--------|---------|--------------|---------|--------------|----------------------------|
| | 菓子・食 品 | 冷菓 | 乳業 | 食品 原料 | 海外 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 66,717 | 80,097 | 67,364 | 11,158 | 59,902 | 285,239 | 18,682 | 303,921 | — | 303,921 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 762 | 62 | 7 | 226 | — | 1,058 | 12,606 | 13,664 | △13,664 | — |
| 計 | 67,479 | 80,160 | 67,371 | 11,384 | 59,902 | 286,297 | 31,288 | 317,586 | △13,664 | 303,921 |
| セグメント利益 | 5,004 | 2,717 | △257 | 1,238 | 1,192 | 9,894 | 505 | 10,400 | 2,445 | 12,845 |
| セグメント資産 | 44,988 | 34,139 | 26,077 | 7,812 | 51,067 | 164,085 | 1,781 | 165,866 | 203,189 | 369,056 |
| その他の項目 | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 3,459 | 3,588 | 1,537 | 206 | 2,770 | 11,561 | 173 | 11,734 | 2,162 | 13,896 |
| 有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額 | 1,576 | 1,977 | 1,012 | 281 | 8,313 | 13,161 | 766 | 13,927 | 12,784 | 26,712 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、健康部門、オフィスグリコ部門、システム保守開発事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,445百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額1,798百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等646百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。セグメント資産の調整額203,189百万円は、報告セグメントに帰属しない全社資産であります。その他の項目の減価償却費の調整額2,162百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額12,784百万円は、報告セグメントに帰属しない全社償却費及び全社取得資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

「注記事項（会計方針の変更）」に記載のとおり、当連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

| | 菓子・食品 | 冷菓 | 乳業 | 食品原料 | 海外 | その他 | 計 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 79,164 | 87,766 | 79,892 | 10,524 | 60,991 | 20,231 | 338,571 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

| 日本 | 中国 | 東南アジア | 米国 | その他 | 合計 |
|---------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 277,579 | 32,381 | 14,239 | 10,716 | 3,654 | 338,571 |

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

| 日本 | 中国 | 東南アジア | 米国 | その他 | 合計 |
|--------|-------|--------|----|-----|---------|
| 80,507 | 8,633 | 11,560 | 52 | 325 | 101,080 |

当連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：百万円）

| | 菓子・食品 | 冷菓 | 乳業 | 食品原料 | 海外 | その他 | 計 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 外部顧客への売上高 | 66,717 | 80,097 | 67,364 | 11,158 | 59,902 | 18,682 | 303,921 |

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：百万円）

| 日本 | 中国 | 東南アジア | 米国 | その他 | 合計 |
|---------|--------|--------|--------|-------|---------|
| 244,019 | 24,443 | 14,904 | 14,927 | 5,627 | 303,921 |

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

（単位：百万円）

| 日本 | 中国 | 東南アジア | 米国 | その他 | 合計 |
|--------|-------|--------|-----|-----|---------|
| 81,649 | 9,435 | 18,369 | 145 | 438 | 110,038 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

| | 菓子・食品 | 冷菓 | 乳業 | 食品原料 | 海外 | その他 | 計 |
|------|-------|----|----|------|----|-----|-----|
| 減損損失 | 8 | 0 | 4 | — | 41 | 65 | 119 |

当連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

| | 菓子・食品 | 冷菓 | 乳業 | 食品原料 | 海外 | その他 | 計 |
|------|-------|-----|----|------|-----|-----|-----|
| 減損損失 | 3 | 135 | 17 | — | 180 | 82 | 419 |

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2021年1月1日 至 2021年12月31日）

（単位：百万円）

| | 菓子・食品 | 冷菓 | 乳業 | 食品原料 | 海外 | その他 | 計 |
|-------|-------|----|----|------|-----|-----|-----|
| 当期償却額 | — | — | — | — | 64 | — | 64 |
| 当期末残高 | — | — | — | — | 391 | — | 391 |

当連結会計年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

（単位：百万円）

| | 菓子・食品 | 冷菓 | 乳業 | 食品原料 | 海外 | その他 | 計 |
|-------|-------|----|----|------|-----|-----|-----|
| 当期償却額 | — | — | — | — | 72 | — | 72 |
| 当期末残高 | — | — | — | — | 352 | — | 352 |

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|------------|---|---|
| 1株当たり純資産額 | 3,710.65円 | 3,841.62円 |
| 1株当たり当期純利益 | 208.44円 | 126.59円 |

- (注) 1. 1株当たり純資産額の算定上「期末株式数」は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（信託口）」所有の当社株式数（前連結会計年度46千株、当連結会計年度一千株）を控除しております。
2. 1株当たり当期純利益の算定上「期中平均株式数」は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（信託口）」所有の当社株式（前連結会計年度80千株、当連結会計年度16千株）を控除しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

| | 前連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日) | 当連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日) |
|---|--|--|
| 1株当たり当期純利益 | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円) | 13,519 | 8,099 |
| 普通株主に帰属しない金額 (百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 13,519 | 8,099 |
| 普通株式の期中平均株式数 (千株) | 64,856 | 63,984 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含めな かった潜在株式の概要 | 2024年満期ユーロ円建転換社債 型新株予約権付社債(額面金額 300億円 新株予約権3,000個) | 2024年満期ユーロ円建転換社債 型新株予約権付社債(額面金額 300億円 新株予約権3,000個) |

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の変動(2023年3月29日付)

- ・新任監査役候補
監査役 寺本 悟
- ・退任予定監査役
監査役 岩井 伸太郎

決算短信補足説明資料

-22年12月期 決算-

江崎グリコ株式会社
Ezaki Glico Co., Ltd.

連結経営成績 (百万円未満、百万元未満、百万米ドル未満は切り捨て)

(1)売上高・利益の概況

単位：百万円

| | 21/12期 (1月-12月) 組替後 | 22/12期 (1月-12月) 実績 | 前年同期比 | |
|-------|------------------------|-----------------------|---------|--------|
| | | | 金額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 292,557 | 303,921 | 11,364 | 3.9 |
| 営業利益 | 19,307 | 12,845 | ▲ 6,461 | -33.5 |
| 経常利益 | 21,708 | 13,646 | ▲ 8,062 | -37.1 |
| 当期純利益 | 13,519 | 8,099 | ▲ 5,419 | -40.1 |

(2)営業利益の状況

単位：百万円

| | 21/12期 | | 22/12期 | |
|------------|--------------|--------|-------------|--------|
| | (1月-12月) 組替後 | 売上比(%) | (1月-12月) 実績 | 売上比(%) |
| 売上高 | 292,557 | 100.0 | 303,921 | 100.0 |
| 売上原価 | 180,537 | 61.7 | 193,172 | 63.6 |
| 売上総利益 | 112,019 | 38.3 | 110,749 | 36.4 |
| 運賃保管料 | 25,220 | 8.6 | 27,122 | 8.9 |
| 販売促進費 | 8,507 | 2.9 | 8,956 | 2.9 |
| 広告費 | 10,021 | 3.4 | 10,257 | 3.4 |
| 人件費・厚生費 | 28,670 | 9.8 | 30,633 | 10.1 |
| 経費・償却費 | 20,292 | 6.9 | 20,934 | 6.9 |
| 販売費及び一般管理費 | 92,712 | 31.7 | 97,903 | 32.2 |
| 営業利益 | 19,307 | 6.6 | 12,845 | 4.2 |

| 営業利益の増減要因 | 対21/12期 (1月-12月) | |
|--------------------|------------------|---------|
| | 内 | 国内 |
| ①売上高増減による増減益 | 4,840 | 552 |
| ②原材料価格変動による増減益 | ▲ 6,888 | ▲ 5,070 |
| ③原価のその他変動による増減益※ | ▲ 202 | ▲ 386 |
| ④運賃保管料比率変動による増減益 | ▲ 922 | 580 |
| ⑤販売促進費・広告費増減による増減益 | ▲ 685 | 770 |
| ⑥一般管理費増減による増減益 | ▲ 2,604 | ▲ 184 |
| 合計 | ▲ 6,461 | ▲ 3,738 |

※販売品種構成の変化等の増減益を含む

(3)セグメント別売上高の状況

*以下のカテゴリー別売上高の数値については、管理会計上の集計数値です。

単位：百万円

| セグメント | カテゴリー | 21/12期 (1月-12月) 組替後 | 22/12期 (1月-12月) 実績 | 前年同期比 | |
|-------|---------|------------------------|-----------------------|---------|--------|
| | | | | 金額 | 増減率(%) |
| 菓子・食品 | チョコレート | 33,690 | 33,057 | ▲ 633 | -1.9 |
| | ビスケット | 18,523 | 19,511 | 987 | 5.3 |
| | 加工食品 | 12,078 | 12,737 | 659 | 5.5 |
| | その他 | 1,342 | 1,411 | 68 | 5.1 |
| | 計 | 65,634 | 66,717 | 1,082 | 1.6 |
| 冷菓 | | 77,246 | 80,097 | 2,850 | 3.7 |
| 乳業 | 発酵乳 | 14,497 | 12,304 | ▲ 2,192 | -15.1 |
| | 牛乳・乳飲料 | 21,478 | 20,221 | ▲ 1,256 | -5.8 |
| | 果汁・清涼飲料 | 20,065 | 19,658 | ▲ 406 | -2.0 |
| | 洋生菓子 | 10,012 | 10,810 | 797 | 8.0 |
| | ベビー育児 | 4,464 | 4,368 | ▲ 96 | -2.2 |
| | 計 | 70,518 | 67,364 | ▲ 3,154 | -4.5 |
| 食品原料 | | 10,500 | 11,158 | 657 | 6.3 |
| 海外 | | 49,920 | 59,902 | 9,982 | 20.0 |
| その他 | うち健康 | 13,845 | 13,532 | ▲ 312 | -2.3 |
| | 計 | 18,735 | 18,682 | ▲ 53 | -0.3 |
| 合計 | | 292,557 | 303,921 | 11,364 | 3.9 |

(4)セグメント別営業利益の状況

単位：百万円

| セグメント | 21/12期 (1月-12月) 組替後 | 22/12期 (1月-12月) 実績 | 前年同期比 | |
|-------|------------------------|-----------------------|---------|--------|
| | | | 金額 | 増減率(%) |
| 菓子・食品 | 5,098 | 5,004 | ▲ 93 | -1.8 |
| うち 菓子 | 4,552 | 4,600 | 47 | 1.1 |
| うち 食品 | 545 | 404 | ▲ 141 | -26.0 |
| 冷菓 | 3,799 | 2,717 | ▲ 1,081 | -28.5 |
| 乳業 | 2,095 | ▲ 257 | ▲ 2,352 | - |
| 食品原料 | 919 | 1,238 | 319 | 34.8 |
| 海外 | 3,915 | 1,192 | ▲ 2,723 | -69.6 |
| その他 | 1,525 | 505 | ▲ 1,020 | -66.9 |
| 調整 | 1,954 | 2,445 | 491 | 25.1 |
| 合 計 | 19,307 | 12,845 | ▲ 6,461 | -33.5 |

(5)海外事業 - 地域別の売上高、営業利益

* 以下の数値については、管理会計上の数値であり連結財務諸表数値とは異なります。
また、地域区分についても連結財務諸表とは異なります。

◆中国

単位：百万円

| | 21/12期 (1月-12月) 組替後 | 22/12期 (1月-12月) 実績 | 前年同期比 | |
|------|------------------------|-----------------------|-------|--------|
| | | | 金額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 1,410 | 1,261 | ▲ 148 | -10.5 |
| 営業利益 | 141 | 60 | ▲ 80 | -56.8 |

◆ASEAN

単位：百万米ドル

| | 21/12期 (1月-12月) 組替後 | 22/12期 (1月-12月) 実績 | 前年同期比 | |
|------|------------------------|-----------------------|-------|--------|
| | | | 金額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 98 | 113 | 14 | 14.9 |
| 営業利益 | ▲ 7 | ▲ 13 | ▲ 5 | - |

※21年12月期4Qの実績は、22年12月期4Qの平均レートで置き換えています。

◆米国

単位：百万米ドル

| | 21/12期 (1月-12月) 実績 | 22/12期 (1月-12月) 実績 | 前年同期比 | |
|------|-----------------------|-----------------------|-------|--------|
| | | | 金額 | 増減率(%) |
| 売上高 | 91 | 108 | 16 | 18.5 |
| 営業利益 | 24 | 17 | ▲ 6 | -25.2 |

※米国については、連結ベースの数字です。